

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月24日	作成者名	後藤 英明	評価者名	櫻井 聡
-----	-------------	------	-------	------	------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	03 安心して安全に暮らせるまち	中心となる課	市民生活部・防犯くらし交通課
分野	03 防犯	関係課	危機管理防災課・危機管理防災課
施策	32 防犯体制の強化		
施策の目的	市民の誰もが安全で安心して暮らせるよう、地域と連携した防犯対策を推進するとともに、防犯体制の強化を図ります。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	犯罪抑止対策事業
取り組み②	防犯対策事業
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
犯罪発生率	埼玉県内における犯罪発生率の順位 (警察本部発表)	位	11以下	5	9	11	17	7	
パトロール支援	自主防犯パトロール支援割合の維持	%	100	100	100	100	100	100	
「とだピースガードメール」登録者数	全登録者の人数 (H30から「いいとだメール」に移行)	人	5,000	4,700	4,941	4,927	3,002	3,962	
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	令和元年の犯罪発生件数は1,269件と、前年から68件増加し、犯罪発生率も県下ワースト7位となっている。発生した犯罪では、自転車盗が全体の約35%と依然として高水準で発生しており、振り込め詐欺の予兆電話や不審者による子どもへの声掛け事案も多いため、これらへの対応が課題と考える。また、いいとだメール登録者数については、サービス切替後、積極的なPRにより登録者は大きく増加したが、登録者の増加に向けた周知が引き続き課題である。	対応策	委託警備員による犯罪多発場所の重点的なパトロールの継続実施や、市が学区ごとに整備する見守り防犯カメラにより、犯罪抑止に繋げていく。また、様々な機会を捉えた自転車盗対策のキャンペーンなどの啓発活動や、学校と連携し子どもへの防犯意識の醸成に繋がる活動を実施する。いいとだメールについては、犯罪情報や振り込め詐欺予兆電話に関する情報をより迅速に市民に配信していくとともに、更なる登録者の増加に向けて積極的にPR活動を行う。
----	--	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	安全ステーションや防犯パトロール、町会・事業者による自主防犯活動や防犯灯の整備など犯罪抑止対策としては概ね予定通りであり、防犯カメラについては、町会への設置補助が終了したが、美女木小学校区内の通学路等に見守り防犯カメラを20台設置した。イベントや交通安全教室で自転車盗や振り込め詐欺防止活動を行い、防犯意識の向上を図っている。
B		
今後の方向性(人員/予算) (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	目標達成に向けて犯罪を減らしていくためには、現状の取組の継続は必要であり、人員は維持していく。更に、不審者や事故対策として小学校区内に市で設置・管理する「見守り防犯カメラ」をすべての小学校区へ整備していき、更なる犯罪抑止に繋げていくため、予算については増加が必要である。
↑		

(評価者コメント)

これまで警察官OBや委託警備員が青色回転灯装備車両によるパトロール、町会等による自主防犯パトロールなど様々な防犯活動を積極的に推進してきた結果、犯罪発生件数はピーク時の4分の1近くまで減少している。今後も、一層犯罪を減らすため、効果的な犯罪抑止方法を検討していくと共に、防犯カメラの増設やメールによる犯罪発生情報の迅速な配信等を通して、市民の防犯意識を高め、安心して安全に暮らせるまちづくりに向けた取り組みを継続していく。

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月24日	作成者名	後藤 英明	評価者名	櫻井 聡
-----	-------------	------	-------	------	------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			R 3 予 算 額	事業費 うち 一般財源		
		事業コード	事業内容	事業区分 R3 計 画 額	R1決算額		評価結果						事業の方向性	実施計画候補			施策内優先度	コメント
					R2予算額	事業費	事業の方向性	実施計画候補	施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性						
03 不当要求行為等対策費 (危機管理防災課)																		
		不当要求行為等対策費			5,109											不当要求事案に対し、組織的な対応を行うため、指導・助言を継続する。	6,058	
					5,697													
	01	01	02	01	24	03	01	任意	1	B	B	B	B	1	B			
	各課の不当要求行為等に対し指導・助言を行う。			6,045														
					3,424													
01 防犯対策事業 (防犯くらし交通課)																		
		防犯対策事業			10,892											警察や地域と一体となった防犯活動や各種啓発等を継続していく。	13,013	
					13,858													
	01	01	02	01	23	01	01	任意	1	○	B	B	A	A	1		○	B
	一人ひとりの防犯意識を向上させ、犯罪発生件数を減少さ			12,994														
					7,190													
		犯罪抑止対策事業			77,367											見守り防犯カメラを、令和2年度に全小学校区へ整備。令和3年度から稼働していく。	157,753	
					102,646													
	01	02	01	23	01	02	任意	2	○	A	B	A	A	2	○		A	
	安全ステーション2カ所には、それぞれ警察官○B1名を			157,753														
					156,229													156,227
					3,082													
		防犯灯事業			5,227											継続して維持管理する必要があるが、他事業との統合も含めて検討する。	5,367	
					6,449													
	01	02	01	23	01	03	任意	1	A	A	A	B	1	C				
	市民等の要望等を基にし、防犯上危険と認められる箇所に			5,367														
					5,367													5,367
					4,109													
計 (千円)					事業費	98,595	R2予算額	128,650	R3計画額	182,191	R3予算額	182,191						
					うち一般財源	95,483		127,094		180,635		180,631						

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 令和3年度で終了 8 令和2年度で終了 9 令和元年度で終了